観光を育てるとか、観光をより良いものにするという観点

1. コロナ過での新たな取り組み
	1. インターネットを利用したオンラインツアー
	2. バーチャル宿泊体験
	3. 宿泊施設の中で中長期滞在サービス提供や客室でのテレワーク利用促進
	4. 休暇とリモートワークを両立させる「ワーケーション」
	5. 「マイクロツーリズム」（身近な地域観光）
	6. 消費を通じて地元産業を支える・応援する
	7. 観光関連事業者が雇用を守るため、農業などの人手不足の領域に従業員を派遣する

が７項目、

2，これまでの観光振興の諸問題

1. 経済効果ばかりを追求し、観光需要を増やすための「アクセル」しか踏んでこなかった
2. 「住んでよし、訪れてよし」と言いつつも、政策的には地域社会や地域生活の存続や豊かさの実現が、どこか従属的な扱いになっている
3. 観光の脆弱性を経緯視してきた

として３点で、この現状をしっかりと分析し、観光の不安定要素にどこまでどう対応していくのか見極め、レジリエンス（対応力・回復力）を高める施策を講じること

3，これからの観光を考える

1. 「リアル」の価値
2. 情報通信技術の活用
3. 地球環境への配慮―グリーン＆スロー

が３点にわたって提案されています。